

コートとり当番担当クラブ	
9月: 10月分のコート	本町A
10月: 11月分のコート	康住B
11月: 12月分のコート	恩多A

発行責任者 柳 利夫
 住所 東村山市萩山町
 5-6-26-301
 Tel. 0423-92-8808
 編集責任者 川村英明

市民テ箱根合宿遠征記

恩多クラブ 中根 一夫

大人26名、小人11名、総勢37名、箱根行きの時間
 が待ち切れず、合宿参加者全員早目に集合、予定の8時30
 分を待たずに笹野井事務局長運転の38人乗りレンタルバス
 は、東住給水塔を出発。田無經由8号線より東名に入り一
 路箱根路へ、……途中海老名サービスエリアで小休憩。
 宿舎で自分達だけの部屋確保が出来た事を知った小供達は
 バスの中で口を揃え宿舎でワンと遊びテニスを上手に下り
 たいと、お父さん、お母さんから解放される喜びからのハ
 シャギと、テニスに対する決意の中で、バスは御殿場イン
 ターを降りて乙女峠を越え箱根仙石原に入り宿舎のひとつ
 金時荘を横目に通り越し、もうひとつの宿舎伊藤荘を横切
 り、予定より若干早く昼前にはフタバヤ箱根仙石原コート
 に到着した。早速コートクラブハウスで持参の弁当をホ
 オバリ、おしゃべりして着替えてコートに入る。

コートは、ハードコートだが只のハードではない、きれ
 いな模様を削り貫き隙間を作った10センチ角のゴム板を敷
 き詰めたコートで、クッションもあり普通のハードより疲
 れが少なく、雨が上がりれば直ちに使用出来るハードコート
 である。早速子供達下スクール形式の練習、大人は二ホに
 分かれ日頃のウイークポイントのバックを中心に猛練習。
 箱根下など涼しい所での約2時間の及ぶ夏場の特訓に對し
 汗をかきかかぬうちに時間が来た。我々の練習終了を待
 ちかねたように雨が降り出し、伊藤荘及び、金時荘に引上
 げ、湯の香漂う小涌谷より引いた温泉につかり疲れをいや
 す。(今回は、宿舎を伊藤荘：コートより約1K、金時荘
 :約10K離れた2ヶ所に分宿したのが難点だが、これも又
 良し)。一泊一夜は我々の今回の合宿にお骨折れ下された
 フタバヤの房前さんをゲストに、金時荘で例年の如く大パ
 ーティー。反省あり、歌ありで楽しいひと時を過ごす。

前夜の雨も上った翌日、早朝何人か朝練習を楽しみ
 、或る人朝朝日浴に、各人各様楽しんだ後、朝食を取りバ
 スでコートへ。練習は指向を変えて子供達は試合形式のスト
 ローク練習、大人はハンデキャップ制の全員総当たりダ
 ブルスマッチ。ホアの相手は抽籤、各人思い掛けない人
 とホアを組み合わせ望む。ハンデキャップ制の為、或る
 組は、1ポイント取るとゲームが取れる。(例として、マイ
 ナスサーブ：サーブから始まる)。皆公平無比な試合と
 なり、しかも勝率ではなく、ゲーム取得率で順位を競う試
 合で総当たり、試合終了後思い掛けないホアが優勝、2位
 3位と下っていた。試合終了近くで降雨となり宿舎へ。

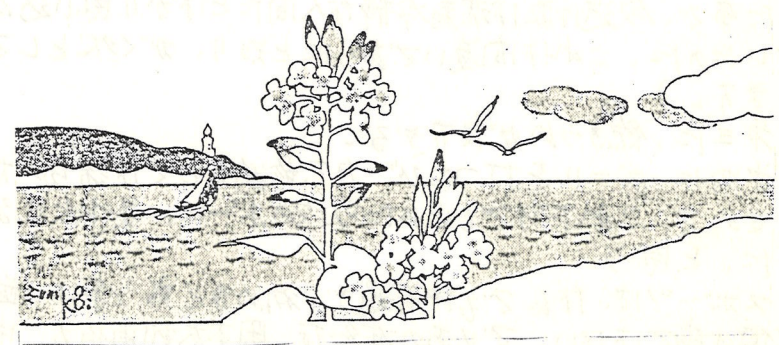
当初予定していたクラブハウス前のバーベキューを止め
 なく変更、伊藤荘バーラウンダで、前夜同様房前さんを迎へ、
 夜のバーベキューパーティー開催。全員夕飯食べ、飲み、
 語り、花火を見ながら最後の箱根仙石原の夜を楽しむ。

3日目には雨、だが房前さんの取計いで屋内コート
 へ。大人は12時迄アプローチショット、スマッシュ等の特
 訓、子供達はバスで芦ノ湖見物、遊覧船に乗り夏の箱根を
 満喫。お昼はバナナのソーメン、オニギリを食べ、クラ

ブハウス前で記念撮影の後、バスでコートと別れ、途
 中で仙石原のまんじゅう屋で、金時まんじゅうなどの休土
 産を買って、金時荘に立寄り小休止兼、総当たり試合の表
 彰式を行い、大人全員賞品と貰いチョコ。この表彰式に
 ママの行事が終了し帰路について。

小中湖を経て、中央道経由、予定していた夕方6時、康
 住給水塔前に全員無事到着した。

最後に、箱根迄の往復、コート～宿舎内往復など、献
 身的にバスに依る送り迎へに御苦労願った笹野井事務局長
 に、心より感謝し遠征記を終わります。



合宿記

美住クラブ 坂口 瑠璃子

箱根仙石原二泊三日合宿の掲示を見て、参加者一号の記
 名をしたのが、5月の初め。いよいよ7月23日、8時集合
 ・30数名の仲間入りをして、笹野井氏運転のバスにマ箱
 根に向かった。山々に囲まれた高級別荘、会社の社員寮等
 の立ち並ぶ美しい風景の中に、テニスコートが広がった。
 マテフレックス、周子慣れぬ名のコートは、ボールの弾み
 方、足許の動きも違う。最初は少々困ったが、慣れるにつ
 れそれなりに慣れ来た。試合コートによる主にバックス
 トローフの指導がいよいよ盛り上がったところで、雨に降り
 1日は終わった。夜の賑やかさは、ご想像に任せる事にし
 ょう。

2日目の試合は抽籤、どうも若く強い木村氏に……
 との願いも空しく、女性同志の組合せになり、パートナー
 の方に大変迷惑をかけた。賑やかな試合の終りも近づい
 た頃、雨にマ引き揚げ、夜は試合の語に花が咲く。バーベ
 キューの、之に、かに、寄々山海の珍味。寧ろ酒の頃、子
 供達の花火も楽しげに、山の夜は情しくも便けマ行った。
 最後の日は遂に雨にたたられ、室内コートにマ高度の技の
 練習。それを身に付けて、最後の勉強も終わった。

合宿とは、技術の向上は勿論だが、人との出会い、心の
 触れ合いにも、大変良い機会だと思ふ。寧ろ皆、皆を楽
 しませる為にけん命下人、テレビ出演者より、見事な司会
 振りを発揮し、寧ろ盛り上げて呉れる人、裏方に廻り、
 利やかで家の進行に心くばりをおる人、等々。良い合宿に
 する為に、それそれの方の力が集った大変良い合宿であ
 った。皆々様のお心遣い、お身に染み、感謝の三日間であ
 った。

私とテニス <54>

本町クラブ 三宅 利寿

私がテニスを初めた動機は、女房に連れられて、最初は様々初めたのですが、市民テの初心者コースに入って、白球を遊ぶ内に、いつのまにかとりこにハマってしまい、今では完全にテニス病に掛ってしまいました。それも重症で……市民テのスクールだけでは、ストロークもおぼろげな下いので同期の人達と平日レッスンを、火・木・土と初め、人はいれ替ったけれど今でもこの練習は続いています。大切に思っています。この自主練習からは女性陣下達して、対外試合に送られるよう下人が殆んどですが、黒一兵の私だけが、今だに足がみている始末です。

最近ゴルフは上達したのに、テニスはますます落ち込んで、私に向いていないのでは、と悩む日々です。そこで自分なりに、上達しない原因を考えまわると、性格がだいたい左右しているように思われまわらない。

第一に、闘争心に欠けている。

第二に、せっかちである。(これは、テニスを初めて解った事で、今迄は私に沈着冷静な人間だとはばかり思っていたのに、これからは違っていたと知り、かく然としていきます。)

第三に、飽きられが良すぎる。

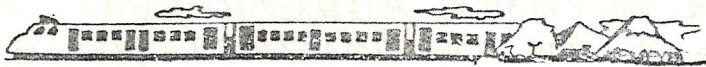
第四に、ボールを打つたび、自己診断をしまわると落ち込む、せめて、これだけでも止めたら次のボールに集中出来るのに、と思う。

スポーツは、下んでも中年過ぎで初めると言う事は、並大抵の事では無い、でもあの有名な、岡本太郎画伯も、中年どころか、熟年過ぎでスキーを初め、今では山スキーもこなせる程に上達したそうだが、この話を聞いて私も、一歩の希望を持ってこれからますます練習あるのみ……

テニスを初める、私に取って一番良かった事は、薬を飲まなくて済んだ事です。今迄は、女房に言わせると、個々にする程薬を飲んでいたので、テニスによって走り回るせいで胃痛も吹っさしたんだが、めったに薬に頼らなくて済んでいます。

最近では、長男も初心者に入れてもらって練習に動いているので、二人で上達して、いつの日かダブルスを組んで、試合に出られたらと願っています。

私みたいな者が、ここ迄どうにかついたらこれだけの、市民テのコーチの方々初め、平日練習の仲間及び、(テニスの話になると、火気が散る程激論しあう女房) のお陰で感謝しています。今後共、毫の歩みの私ですが、応援等宜しくお願いします。



コート使用の変更

秋季市民大会のため、コート使用の変更があります。

9月5日(日)	12時~17時	久米川コート	1-3
12日(日)	6時~8時	"	1-5
15日(祝)	"	"	"
19日(日)	"	"	"
23日(祝)	"	"	"
26日(日)	"	"	"

箱根合宿記

美住クラブ 酒井 雄子

9月23日から25日にかけて、箱根の合宿に参加させていただきました。

箱根の、フタバ・テニスパークに到着する。いちめん広がる山々の美しさと、その中に目を見晴らす様なテニスコートがある。

私は、すぐにテニスウェアに着がえ、コートの上を走り出して見る。急に、足が軽くすぐにラケットとボールをつかんでしまう。

それから、指導者の掛け声に合わせフォア、バックのスイングをはじめ。頭の中のフォームとあまりにもちがっていることに気がつく。「どうしたら良いか？」考えると腕に力が入ってしまい、腕が思うように動かばない。指導者の注意を聞きながら、ラケットを振る。ボールの回転のおもしろい事に気がつく。ボールがコートの外に飛び出すこともなく、練習を続けることが出来た。

時のたつのも忘れて、集合の合図がかけられ一日目が過ぎる。

二日目は、ダブルスの試合。「賞品があるよ」と聞くと(さあ、がんばらなくちゃ、でも、試合にはその人なりのハンデの数字が付いているから……) と思うと心配だった。けれど、くじ運が強く、「ダブルスの神様」と言われている人と組むことになった。

試合は、勝ち進んでいた、しかし、4試合目になると、私の技術のたりなさのため、5-6で負けてしまった。急に淋しく目の前が真っ暗になる。(もうせし上手になりたい) と願う。自然にため息が出てくる。橋目でラケットを見る。ラケットまでも、湯んで見えた。急にパートナーから、「こら！」と気合をかけられる。パートナーのテニスにかける情熱を知らされ、ラケットを強く握り直す。テニスの厳しさを知った二日目だった。

三日目は、朝から強い雨が降り続いていた。体育館の中で、スマッシュ、アプローチ、いろいろ下練習を重ねる。練習が終わると民宿に帰る。いよいよ賞品の授与式が始まる。優勝者から名前が呼び出されていく。「3位」と名前を呼び出された時、パートナーの顔を見て、感激の握手をする。

三日目の雨は、しとしと降り続いていたけれど、思い出に残る楽しい合宿でした。

これからの、テニスを続けて行きたいと思っっていますので、先輩のみなさんよろしくお願ひします。



自己紹介

- ①氏名、年齢、職業 ②出身地 ③家族 ④テニス歴
- ⑤他のスポーツ ⑥趣味 ⑦特徴 ⑧今年目標・願ひ

- ①坂井 雅裕 本町クラブ 男 29・1・1
会社員(エレクトロニクス) ②福岡(博多) 黒田武七
中州・博多っ子 純情の博多 ③1人(女房下博多
兄は東京) ④8ヶ月 ⑤音楽(偏見は無いで
浪曲からクラシックまで、聴くのみ) ドライブ
- ⑦一本道を突走り、ある程度根気はあるが、テニスに気まぐれで下々の事に好き、さらいがあるAB型の典型
- ⑧嫁さん、もしくは下嫁さんの候補の探策(願望)